

米 峰



発行日 2008年 4月(第24号)
発行者 (株)柏崎マリン開発(指定管理者)

〒945 0854 新潟県柏崎市東の輪町 8 18
電話: 0257-21-1255 FAX: 0257-21-1670
電子メール info@kashiwazaki-marine.jp
ホームページ <http://www.kashiwazaki-marine.jp>

過去に発行された会報のバックナンバーは、ホームページからご覧いただけます。

お知らせ

専用利用料のお支払について

今回、専用利用者の皆様方へは、平成20年度のマリーナ専用利用料(保管料)のご請求書を同封させていただいております。期限内(概ね1ヶ月以内)にお支払いをいただいた方には「**早期一括支払還元制度**」により5%還元の適用がありますので、**キャッシュバック**または**前受金預かり方式**のいずれかをご選択いただき、お支払いの際にマリーナへお申し出下さい。

平成20年度ウインチ上下架料金について

平成20年度以降、上下架料金を年会費制から1回制へ、または1回制から年会費制に変更を希望される方は、4月20日(日)までにマリーナまでご連絡ください。

年会費という性格上、年度途中でのご変更はお受け致しかねますのでご注意ください。特にご連絡がなければ、昨年度と同じ上下架料金をご請求させていただきますのであらかじめご了承ください。

大型桟橋をご利用の方々へ「共同下架」のご案内

今年も4月26日(土)、5月4日(日)の2日間の日程で大型桟橋利用艇の共同下架の実施を予定しております。該当される方には別紙「共同下架のご案内」、「定期配置のご案内」、「定期配置日程表」を同封しておりますので、詳細はそちらをご覧ください。

柏崎外洋ヨットクラブ様より安全祈願祭の開催についてのお知らせ



柏崎外洋ヨットクラブでは、毎年4月末の共同下架時に安全祈願祭を執り行っておりますが、この度「ボートオーナーの方々も一緒にいかがでしょうか」とのご意見を頂戴いたしましたので、柏崎マリーナ・オーナーズクラブ様、柏崎マリーナ様との共催をさせていただくことになりました。参加はどなたでも自由となっておりますし、参加料も無料ですのでぜひご参加ください。

なお、個々にお礼を希望される場合は別途1,000円が必要となりますのでお申込時にお知らせください。

- 【日時】 4月26日(土) 午前8時20分から(30分程度)
- 【場所】 柏崎マリーナ駐車場にて(雨天の場合は、管理棟2階にて行います。)
- 【内容】 御嶽神社おんたけさんにより祈願・お祓い等をしていただきます。

施設の災害復旧工事の進捗状況について

着工しておりました新潟県中越沖地震の復旧工事については、大方3月末までに見通しがつきましたが、残工事がもう少しあり、4月中旬以降までかかる見込みです。今しばらくご不便をおかけしますが、ご協力のほどお願い申し上げます。(3月末現在、岸壁付近の段差は解消されております。)



安全講習会を開催しました！

去る3月2日(日)柏崎マリーナ2階会議室において応急手当講習会を実施いたしました。当日は、マリーナ会員・一般参加の方々にマリーナ職員4名も加わり、計25名の参加となりました。

今回この講習を受講された方全員に、柏崎市消防長より「普通救命講習」の修了証が発行されました。講師の方も「今回講習を受講された方は、救命技能を忘れることなく維持向上させるため、2年から3年間隔で定期的に講習を受けていただき、今回受講されなかった方はぜひ一度講習を受けていただきたい。」とおっしゃっておられました。

柏崎市では、救急車が現場に到着するまでに平均で約7分かかるとされていますが、人間は心肺停止状態からおよそ3分をすぎると、その後いかなる救命措置を受けても正常な社会復帰は難しいといわれています。この救急隊員が来るまでの間に、現場に居合わせた人間が適切な処置を施すことが非常に重要になってくる訳ですが、実際現場に居合わせると誰もが躊躇してしまうため、日頃からこのような講習を受け、救命技能に慣れ親しんでおくことがいざというときの勇気につながるのではないのでしょうか。



救命知識の勉強



模範実技のようす



心配蘇生法の実技



AEDの使用法

新潟ボートショーに出展しました。

去る2月23日(土)・24日(日)の2日間、新潟市の産業振興センターにて第17回新潟ボートショーが開催されました。今年で6回目の参加となる当マリーナも、昨年に引き続きPRのために出展をいたしました。今年の来場者数は2日間でのべ2,156人との発表で、2日間共に雪がちらつく中の開催ということも影響し、昨年に比べ若干来場者数が減ったようです。一方、天候が悪く出港ができない状況だったこともあり、マリーナ会員の方々は昨年より多くお見かけしたような気がします。

マリーナとしては来年も引き続き出展する予定でありますので、お時間のある方はぜひ会場まで足をお運びください。



あいにくの天候にもかかわらず大勢の来場者がありました。



実際に各社ボートが展示されています。



柏崎マリーナの展示ブース



会員の皆様もお立ち寄りくださいました。

当マリーナが「かしわざき 海の駅」として登録されました。

去る2月23日の新潟ボートショーの会場にて北陸信越「海の駅」設置推進会議による「設立総会」および「登録証交付式」が執り行われ、当施設が「かしわざき 海の駅」という名称で登録される運びとなりました。

海の駅とは、国土交通省が推進している『マリレジャーに興味のある方が、いつでも、誰でも、気軽に利用できる憩いの場として全国各地で設置されたレジャー拠点』のことで、実際の機能としては、海の駅毎に提供できる内容は異なりますが、基本的にはプレジャーボート、ヨット等のユーザーの利便性の向上をはかるとともに、マリレジャーに関心を持たれている方への情報発信等を行っています。

現在、全国で登録されている「海の駅」は100カ所ですが、今回新たに北陸信越地区で登録された3ヶ所にとどまらず、今後も10ヶ所程度の施設がこれに続く見込みだそうです。

本州の日本海側には秋田県の「由利本荘マリーナ」以南に海の駅が1カ所もないこともあり、北陸信越地区の海の駅の果たす役割は今後大きなものとなりそうです。



かしわざき「海の駅」
新潟県柏崎マリーナ

以前より掲示物等により皆様をお願いして参りました「航行ルール」、「航行マナー」の遵守についてですが、なかには未だかなりの速力で入出港をしている船が散見されます。これらの行為は、船同士の衝突や人身事故などの直接的なものから、「引き波」の影響による間接的な二次災害まで様々な事故を引き起こす要因となっております。しかし、これらの事故は、皆様一人ひとりの意識の向上により未然に防ぐことが出来ます。下記内容をよくお読みいただき、日頃の安全航行の励行に努めてください。

入港時は、船がマリーナ沖防波堤付近まで来たら、速度を十分に落としてください。 出会いがしらに出港する船と衝突するおそれがあります。また、手漕ぎボートや遊泳者等が航路を横断していることもあり得ますので、十分に速度を落とし、周囲の安全を確認しながら、入港してください。

出港時は、マリーナ沖防波堤を過ぎるまで、スピードを十分に落とし、特に沖防波堤の間から飛び出してくる船を警戒しながら航行してください。

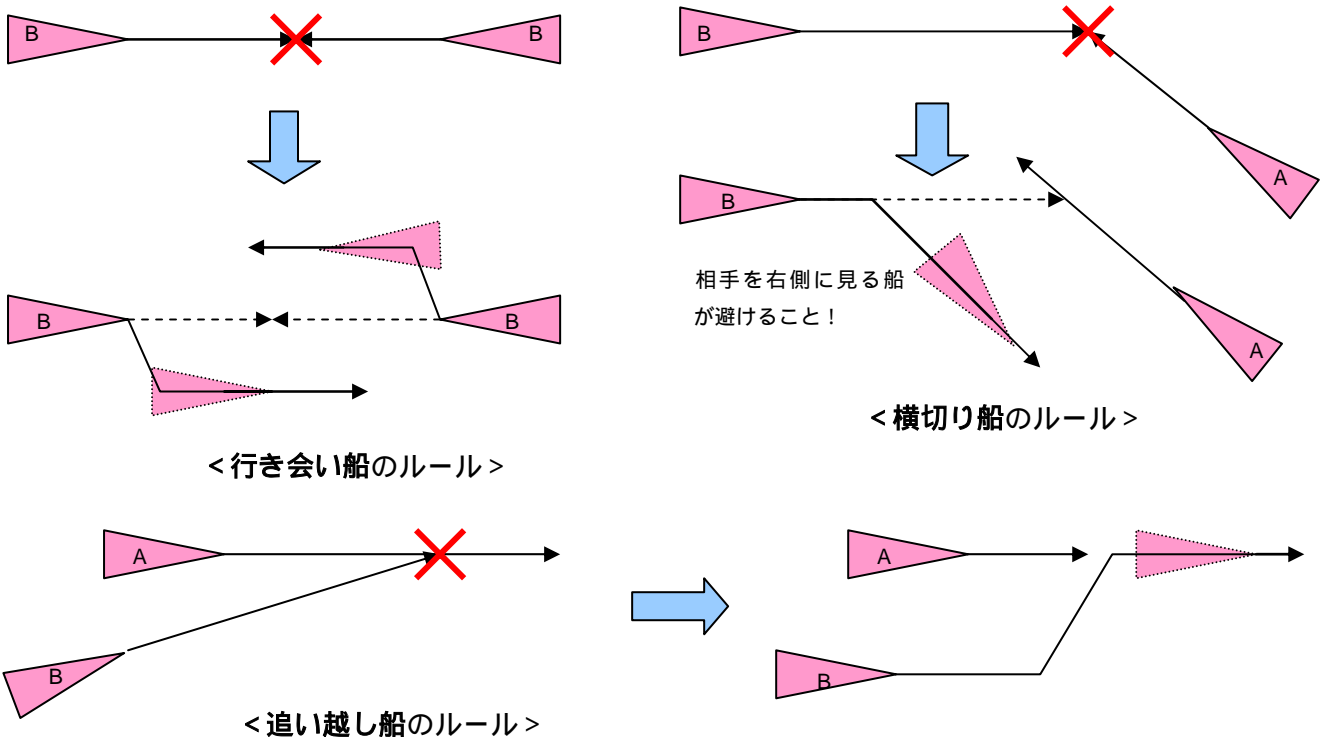
マリーナ内は、**引き波を立てない程度**の速力(速力の目安: 5ノット)で航行してください。引き波を立てると、桟橋に係留してあるヨット等の船が大きく揺れ、船の中にいらっしゃる方や船へ乗り降りする方へ大変ご迷惑となります。また、ご自身の船の係留の際にも船が揺れ、落水や破損等のおそれがあります。マリーナ内は緊急の場合を除き、「**右側通行**」で航行してください。

ヨットはモーターボートに比べ、操縦性能が低いため、基本的には**モーターボートが避航船でヨットは保持船**となるよう配慮してください。

【最後に...】マリーナの航路は左右にテトラや防波堤などがあり、決して広いとは言えませんが、互いに速度を落として航行すれば、十分に行き交える余裕があります。また、ご自分ではゆっくり走っているつもりでも周囲では思っている以上に引き波が立っていることも多々あります。上記のルールを守っていただくのはもちろんのことですが、頑なにルールにとらわれることなく、その都度臨機応変に対応し、相手を思いやる「マナー」を持つことこそ「シーマンシップ」といえるのではないのでしょうか。

上記のほか「海上衝突予防法」では、以下の通りに定められています。海上でこのようなケースがありましたら、図のとおり行動してください。

【海上衝突予防法による万国共通の海の交通ルール】 図中 **A** は保持船、**B** は避航船
 避航船：他の船の針路を避けなければならない方の船。出来る限り早めに大きな動作をしなければならない。
 保持船：針路を避けられる方の船。針路と速力を変えずに現状を保持しなければならない。



平成19年度「海上でのトラブル」報告 (平成19年4月～20年3月)

平成19年度の「海上でのトラブル」による米峰号の出動回数は合計4回でした。海上には陸上と違い、道路もなければガソリンスタンドもありません。風が吹いてくれば車と違って船はあっという間に流されてしまうため、**エンジントラブルは即漂流**へとつながります。万が一の時のためにも、最低限出港前にライフジャケットをご着用ください。

時期	救助所用時間	場所	トラブルの状況
19年 6月上旬	9:15～ 11:10	しいやおき 椎谷沖	【状況】前後進にギアが入らず、航行不能となる。救助艇にて曳航し帰港。 【原因】駆動部ギアの欠けが原因と思われる、油圧クラッチの動作不良。
19年 9月上旬	9:30～ 10:15	おうみがわぎよし 青海川漁礁	【状況】ステアリング(ハンドル)をまわしても舵が動かないとのことで航行不能となる。救助艇にて曳航し帰港。 【原因】ステアリングの油圧シリンダーに穴が開いたことによる、オイル漏れが原因。
19年 9月中旬	9:00～ 11:00	なか 中の瀬	【状況】釣り場でポイントの移動をしようとした所、エンジンが始動しない。救助艇にて到着後、バッテリーを付替えてみるものの状況が変わらないため、曳航し帰港。 【原因】スターターモーターの動作不良が原因。
19年 11月上旬	15:30～ 16:10	おうみがわぎよし 青海川漁礁	【状況】前後進にギアが入らず航行不能となる。救助艇にて曳航し帰港。 【原因】前後進の切り替えをするシフトロッドが折損していた。

米峰号による海上でのトラブルへの出張対応について

これまで、皆様の海上における船のトラブル等に関しましては、マリーナ救助艇(米峰号・レスキュー1号)を使用し対応して参りました。その際も燃料代等の実費や、出動・曳航費用等の諸費用はいただいておりますでしたが、今年度からは別途下記に定める料金を徴収させていただきます。

海上では、不可抗力的なトラブルも中にはありますが、基本的には皆様が日頃の点検・整備を怠らず、ルールに則った航行さえしていただければ、大抵のトラブルは未然に防げるものです。

マリーナとしては今年度の米峰号の出動回数が0件であることを望んでおり、皆様には是非とも定期的な点検・整備をお願い申し上げるもので、決して料金徴収を目的としたものではないという事をご理解ください。

内容	徴収金額
出動艇が使用した燃料相当分として	実費徴収
海上出張・点検料金(出動費、曳航費等を含んだ料金)として	平日 日中については 2,500円/30分(上限) 1、2

1 修理や部品交換にともなう部品代・作業工賃に関しては別途いただきます。

2 休日・時間外については別途料金となります。

告知コーナー

< 柏崎マリーナオーナーズクラブ事務局からのお知らせ >

オーナーズクラブに対する皆さまのご意見やご要望をお聞かせいただきたいと思います、「ご意見箱」をマリーナロビー受付窓口の脇に設置いたしました。備え付けの用紙で投書してください。また、本年度の会費の納入は専用の納付書又はマリーナ窓口でお願いいたします。

